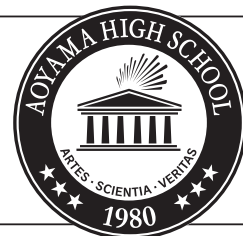


Aoyama News 2021

〒515-2692 三重県津市白山町八対野2739 TEL 059-262-4321 発行・編集 青山高等学校広報チーム



11月 楓フェスティバル2021開催 ～リーダーシップを実践で学ぶ 青山高校最大の文化祭～

10月29日(金)、青山高等学校最大の文化祭である「楓フェスティバル」が三重県津市白山総合文化センターで開催されました。今年のテーマを「進化～evolution～」と掲げ、実行委員会の生徒たちは「成長から進化へ」を実現するために、主体性を持って企画運営に取り組みました。

リハーサルを重ねて挑んだ本番では、各部・サークルの熱のこもったパフォーマンスが披露され、楓フェスティバルの最後には、生徒全員が歌を繋ぎ、ステージで実行委員がダンスで躍動感と喜びを表現する「NEO合唱」で幕を閉じました。

ステージの裏では、ここまで実現できたことへの感動と心地よい疲労感、そしてなにより生徒全員が協力して創り上げたことへの感謝の気持ちに満たされ、今回の経験でまた一歩「進化」を遂げた生徒たちの姿が見られました。



フィナーレを飾った 実行委員企画「NEO合唱」

プロ演奏家とのコラボ企画

東京佼成ウインドオーケストラ 丸田悠太さんが出演

吹奏楽部は、東京佼成ウインドオーケストラの丸田悠太さんとコラボして2曲披露しました。その後、丸田さんのソロステージが行われました。ソロステージでは、G.ビゼー「アルルの女」よりメヌエットを始めとした5曲を演奏していただき、その旋律の素晴らしさに、観客一同が思わず息を呑みました。



【丸田 悠太】新潟県出身。2004年国立音楽大学を首席で卒業。東京ニューシティ管弦楽団を経て、東京佼成ウインドオーケストラピッコロ&フルート奏者、副コンサートマスター。本校吹奏楽部顧問の大学時代からの友人ということで今回のコラボが実現。



和太鼓部「瑠璃拍子/兵」

演目は青山高校和太鼓部に代々継承される「兵(つわもの)」と「瑠璃拍子」。これまでに数々の大会で披露する機会に恵まれました。炎のうねりのような激しさと、澄み渡る水面のような静寂がホール全体の空気を和太鼓に染めました。



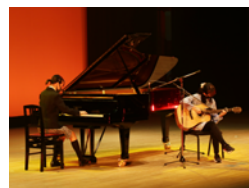
サイエンス部「活動報告」

44名の部員がいるサイエンス部は、さまざまな部門があります。今回は、ドローンをプログラミングで飛ばす実験や、アプリ開発の様子、生物部門の活動などを中心に発表を行いました。



ダンス部「KAEDEメドレー」

5年連続全国大会出場を果たしたダンス部は、「お客さんを楽しませたい」というテーマで取り組みました。ステージの最後にはお客さんの手拍子に包まれてレベルの高い踊りを披露しました。



ミュージックアカデミーサークル

音楽が好きなメンバーが集まった、ミュージックアカデミーサークルは2曲披露しました。「花束のかわりにメロディーを」をピアノ弾き語りで、そして米津玄師の「ピースサイン」をアコースティックギターとピアノで演奏しました。



放送部 創作声劇「羅刹奇譚」

写真・音楽・声優による放送劇を上演しました。脚本は完全オリジナルで部員たちで作りました。鬼となってしまった幼馴染を救うために立ち上がった主人公と友人の物語です。全国レベルの演技で観客を魅了しました。

TOPICS



動画を限定公開中!

YouTubにて、青山高校「楓フェスティバル2021」のダイジェスト動画を限定公開しています。興味のある方は、左のQRコードを読み込んでぜひご覧ください。リンク先のページでは、ダイジェスト動画の他にもメイキングや実行委員企画「NEO合唱」のフルバージョン動画なども公開されています。



会場を彩るアート作品

美術部・まんが部・書道部・写真サークル

副実行委員長の佐藤茉依さんが立案し、1年生実行委員の出口琴菜さんが実現したアンブレラスカイ。青と紫のビニール傘をホール中庭の空中に展示し、幻想的な空間を作り上げました。

展示コーナーでは書道部の作品や美術部の陶芸・絵画の作品展示、サイエンス部の展示、クラフトサークルのアクセサリ販売などもあり、来場者の目を惹きつけていました。



最後までやりぬいた 実行委員たち

コロナ禍の文化祭を成功に導く

8月から本格始動した楓フェスティバル実行委員会ですが、その時はまさに緊急事態宣言真っ只中。いつ楓フェスティバルが中止になるかわからない状況の中、実行委員の生徒たちは「コロナに負けず、絶対に成功させるんだ!」と気持ちを高め、準備を進めてきました。

10月27日からのホールリハーサルでは、それぞれが緊張感と責任感を持って臨みました。リハーサル中に実行委員長から集合の声がかかると、大きな返事とともに円陣を作り、各部署からの報告や反省・改善点について話し合う姿が印象的でした。そして迎えた当日、保護者の方を招いたホールで、実行委員たちが思い描いた最高のステージをやり遂げることができました。



8月 ホール視察



9月 実行委員会議



10月 実行委員企画撮影



10/27.28 リハーサル



10/29 開会



10/29 閉会後ミーティング

Student's VOICE ~楓フェスティバルを終えて一言~



実行委員長 渡部空流さん(島根県出身)

僕の思い描いていたゴールを達成することができました。これも実行委員・出演者・ホールスタッフの皆さんのおかげです。今回、楓フェスティバルの実行委員長をさせてもらい本当に良かったです。ありがとうございました!



副実行委員長 佐藤茉依さん(愛知県出身)

私自身、この楓フェスティバルを通じて進化できたと思います。それは「行動すること」です。リーダーがまず行動することで、周りを巻き込んで大きな動きを作ることができることを実感しました。NEO合唱、司会、声劇と大変でしたが最後までやりきれてよかったです。



広報責任者 伊藤優愛さん(静岡県出身)

広報としてプログラムの制作、公式インスタグラムの更新などを担当しました。プログラム作成を通して、多くの方と関わったことや褒めめの言葉が嬉しく、涙が出ました。楓フェスティバルのおかげで最後までやり遂げられるようになり、成長・進化できたと思います。



照明責任者 岸本一樹さん(京都府出身)

プロのスタッフさんの指導を受けて、ホールの照明を担当しました。プロの機材を使わせてもらったりして、大変だということも沢山ありましたが、とにかく楽しかったです!

楓フェスティバルを通して、一つの事に向かって努力するというを身につけることができ、この経験をこれからの人生に役立てていきたいと思っています。



←楓フェスティバル2021 Instagram

オープンキャンパス開催中

11/6(土) 11/21(日) 12/11(土) 12/18(土)

[WEB会場]

[本校会場]

10:00~11:30

13:30~16:00

オンラインでも参加できます

お申込は

青山高校ホームページをご覧ください

<http://aoyama-h.ed.jp>

オープンキャンパスお申込み・最新ニュースなど更新中

全寮制 青山高校

